

http://www.minamih.net/



14・3・1 (土)
南NEWS NO82



少女フットサル3連覇 優勝 おめでとう！



小澤さん 優秀選手 喜びの少女A “倍返し”の南

新春フットサル大会 少女A (チーム名：ばいがえしの南)

<1/5 石川市民C>

○南八王子 6-2 館町なでしこ (前半3-1)

○テーマ 攻守の切り替えを速く

得点者 片寄さん (2)、漆間さん (2)、小沢Mさん、荒木さん

12月の2回の練習時とは異なり、危なっかしい初戦となりました。苦戦したと思われる主な原因は2つ。「緊張」と「油断」。全体的に判断が遅く、また1対1で負ける場面が目立ち、ボールウォッチャーも多かったですね。有効な声かけが少なかったのも、広い展開が使えなかった原因です。さらに少女チームとしては活動をしていない相手チームに対して、試合をやる前からやりやすい相手と決めつけていたところはなかったかな？個人技任せの力づくで勝ったという印象だけが残りました。いつも言っていることですが、周りをしっかりと見て、判断を速くしてボールと人がどんどん動くようなフットサルができないと、次も苦戦すると思います。次は素晴らしいフットサルを期待しています。



<1/26 創価大体育館>

○南八王子 19-0 松が谷 (前半11-0)

○テーマ 攻守の切り替えを速く

得点者 片寄山 (7)、小沢Mさん (5)、漆間さん (2)、荒木さん (2)、伊藤Aさん (2)、飯島さん

たくさんの得点が入った勝利で準決勝進出ですが、あえて課題の方を指摘したいと思います。

得点のほとんどが個人技あるいはショートパスで崩したものでした。もちろんこれが悪いという訳ではありませんが、ピッチをもっと広く使ったプレーを織り交ぜることができれば、グッドだったと思います。これから準決勝、決勝戦を戦い抜くには、相手を大きく揺さぶるようなプレーも必要になってくるでしょう。狭いエリアを使った攻撃だけでは、守備の強いチーム相手には簡単に突破させてもらえないばかりでなく、シュートを打たせてもらえないと思います。こうしたプレーをやるために必要なのは、やっぱり視野の確保。まだみんなの視野は半径5m程度がやっとなのようになります。もっとしっかりと頭をあげて、10m以上先がしっかりと見えるようにしたいものです。2/11の決勝戦に進出できるようにガンバろう。

<準決勝 2/2 市民体育館分館>

○南八王子 9-2 樺F (前半2-2)

○テーマ 攻守の切り替えを速く、低めのシュートを狙う

得点者 片寄さん (3)、小沢Mさん (2)、漆間さん (2)、伊藤Aさん、伊藤Kさん

前半は緊張からだと思いますが、らしくないプレーが多く、リードしてもすぐに追いつかれるという展開でした。でも後半は気持ちの切り替えがしっかりとできたようで、フィールド選手が全員得点という怒涛のゴールラッシュで相手を突き放し、3年連続の決勝戦へ進出を決めました。後半特によくなくなったのは、ボールの動き。ドリブルだけでなく、広くピッチを使って、ボールを速く展開できたために、両サイドから片寄さん、漆間さんの突破から折り返したボールを中央で合わせるという場面をたくさん作ることができました。また、こうしたサイド攻撃により甘くなった中央からは、小沢さんのミドルシュートやドリブルで切り込んでチャンスが生まれていました。

さて3連覇のかかる決勝戦ですが、最大の敵は緊張だと思います。過度は緊張は体を動かさずただでなく、視野も狭くなりボールが動かなくなります。勝つことも大切ですが、まずは大きな舞台に立てるということを楽しんで欲しいと思います。みんなが楽しめたら、きっと良い結果が待っていると思います。ガンバレ！



<決勝 2/11 市民体育館本館>

○南八王子 6-3 なかのK (前半2-1)

○テーマ 最初の5分はがむしゃらに走る

得点者 小沢Mさん (3)、漆間さん (2)、片寄さん

とても緊張する決勝戦です。言葉で「緊張するな」「普段通りにやいなさい」というのは簡単ですが、いつも通りにできないのが決勝戦です。そこで、ベンチからの指示は、「いつもと違うことをしよう」です。緊張で体がうまく動かないのですから、形にこだわるのではなく、「最初の5分間はがむしゃらに走って体を動かすこと」でした。

その指示通りに、いきなり試合開始直後に小沢さんの中央突破から、左サイドの片寄さんにボールがつながり先制します。直後に少しマークが外れたところを上手く攻め込まれて、同点にされてしまいますが、片寄さんの左からの折り返しを漆間さんがうまく決めて追加点。その後、キーパーが相手と1対1になる決定的ピンチがありましたが、飯島さんがしっかりと止めてくれてリードのまま前半を終えることができました。

後半も同じように全員が走り続けました。アプローチの速さ、鋭さでボールを奪って速く攻めるという形から、多くのチャンスが作れました。片寄さんのボールキープ、ドリブルは完璧で、相手に奪われることは全くありませんでした。漆間さんもドリブル、パスの選択が的確で、相手に攻撃も的を絞らせませんでした。そして、小沢Mさんは中央でしっかりと守備が中心ですが、チャンスがあれば、ドリブルで駆け上がり、シュートにスルーパスと攻撃の起点になっていました。荒木さん、伊藤Aさん、伊藤Kさんはトップの位置で、鋭いアプローチから相手のミス誘うプレーが効果的でした。



決勝戦 対なかの戦

最終的には、一度も相手に並びれることなく、得点差を広げて試合終了。南八王子・少女としては、見事3連覇を決めてくれました。

優秀選手は、チームキャプテンとして、守備だけでなく、攻撃の中心でもあった小沢M

さんが選ばれました。おめでとう！

by 飛田コーチ